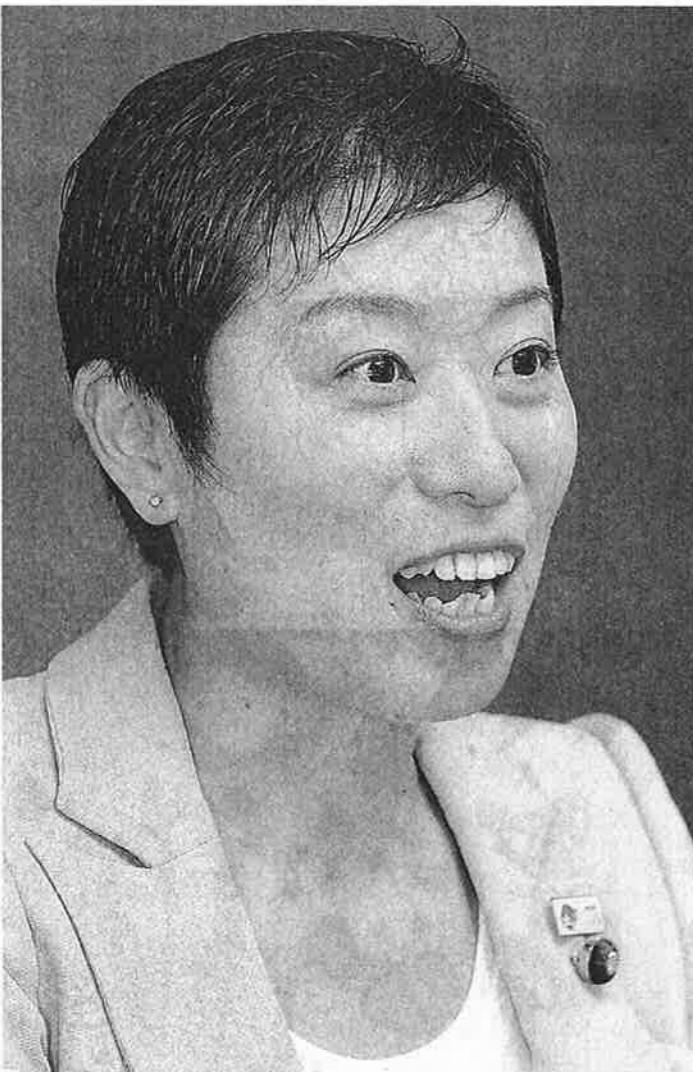


# Fザ・特集



「2世でも金持ちでもない菅さんが首相になり、政治の質が少し変わった」と言う辻元清美・首相補佐官=衆院第2議員会館で8月26日、岩下幸一郎撮影

「自分の言葉で。終わらなければ全てよしでっせ」とボソリ。「あっさりしてたなあ……」

去年7月、長年所属した社民党を離党、現在は無所属ながら民主党と会派を組む。震災から2日後の3月13日、首相補佐官に起用され、官邸で半年間、一緒に仕事をした。「知り合って四半世紀」という間柄。新しいスツヅクリの採寸に立ち会った。

「二国の総理だからヨレヨレの格好はあかん。歐米の首脳の横に立ってもひけをとらんように」と服、つくりせたんです。馬子にも衣装やから。ハハハ。なにに昨年11月の横浜APEC(アジア太平洋経済協力会議)首脳会議で、オバマさんと一緒にいるところを見たら、ネクタイは曲がつ

たまま、安堵とも無念ともつかぬ表情の辻元さんである。約5分、聞き終えた

陣の弁」を語り始めた菅首相に、そう声をかけた。立

館。テレビ画面の中で「退陣の弁」を語り始めた菅首相と一緒に、そう声をかけた。立

つたまま、安堵とも無念ともつかぬ表情の辻元さんである。約5分、聞き終えた

粘りに粘ったが、ついに俵を割って官邸を去る菅直人首相(64)。批判のしどころは多々あるにせよ、結局、何がいけなかったのか。

「市民運動出身」という同じルーツを持ち、東日本大震災後は災害ボランティア担当の補佐官として支えた辻元清美衆院議員(51)に尋ねた。

【宍戸護】

## 同じ「市民運動出身」辻元衆院議員が語る

# 「菅首相」なぜコケたか

菅首相は厚相時代、薬害エイズ問題で厚生省(当時)が隠していた内部資料を明るみに出して国会でも舌鋒鋭い論客として名をはせざる。だが、総理大臣の椅子に座ってからは精彩を欠いた。就任から間もない昨年7月の参院選。唐突に「消費税10%」を口にして大敗を招き、滑り出しからつまずいた。

「私自身、自社の政権を経験して実感したのは『まめさ』こそが権力維持の最大の装置やということ」。ある自民党的幹部は『芝居』ではステージの幕が上がったときには準備が終わっているとの同様、政策も公になつたときはほとんど終わっていないと周りが混乱する」と教えてくれた。ど

うかねの、「理念重視のあまり気が回らず。権力維持には『まめさ』が必要だが、理念重視のあまり気が回らない」などはありますね」苦笑する辻元さん、「いや、気が回らないんですけど、そこまで突っ込むと、どう解説した。『いや、気が回らない』などとは、いかがっていればいいんだ、みたいになりますね」

「確かに、市民運動出身の政治家には、批判するの上手でも、批判を受けるのは下手といつて特徴がある。私もそうなのですよ。私もそうなのですよ。そりや『総理!総理!』と言つてゐるほうが簡単やで」

「私は、自社の政権を経験して実感したのは『まめさ』こそが権力維持の最大の装置やということ」。ある自民党的幹部は『芝居』ではステージの幕が上がったときには準備が終わっているとの同様、政策も公になつたときはほとんど終わっていないと周りが混乱する」と教えてくれた。ど



民主党代表選で投票する菅直人首相の胸中は……=東京都千代田区で8月29日、西本勝撮影

し、96年に衆院議員初当選。2期目の02年3月、秘書給与訴訟問題の責任をとって辞職した。予算委員会に参考人招致されたとき、菅首相は傍聴席で終始見守っていたという。そして、話は「統治論」へと進んでいった。

「議員なら権力のチエックをすればいい。大臣は、時の政権の政策を実行すればいい。でも、総理大臣になつたら『統治』をする。統治とは考え方が違う人、相反するイデオロギーを持つ人をも守ること。そしてやりたい仕事だけではなく、やりたくないことでも妥協しつつ利害関係を調整することなんです」

しかし、野党、官僚、財界、そして党内の対立勢力……菅首相にとつては、いずれも闇うべき相手だった。

「私たち市民運動から出てきた人間はね」。かみしめ

るようにならぬこと

だ。

菅首相の政治決断、是非別にして歴史に残るものが別にして歴史に残るものがあるとすれば、5月6日の「浜岡原発停止要請」、そして7月13日の「脱原発表明」が含まれることは間違いない。

菅首相の政治決断、是非別にして歴史に残るものがあるとすれば、5月6日の「浜岡原発停止要請」、そして7月13日の「脱原発表明」が含まれることは間違いない。

「ザ・特集」は毎週木曜掲載です。ご意見、ご感想は t.yukan@mainichi.co.jp ファックス03-3212-0279 まで

「私は、自社の政権を経験して実感したのは『まめさ』こそが権力維持の最大の装置やということ」。ある自民党的幹部は『芝居』ではステージの幕が上がったときには準備が終わっているとの同様、政策も公になつたときはほとんど終わっていないと周りが混乱する」と教えてくれた。ど

うかねの、「理念重視のあまり気が回らず。権力維持には『まめさ』が必要だが、理念重視のあまり気が回らない」などはありますね」苦笑する辻元さん、「いや、気が回らないんですけど、そこまで突っ込むと、どう解説した。『いや、気が回らない』などとは、いかがっていればいいんだ、みたいになりますね」

「確かに、市民運動出身の政治家には、批判するの上手でも、批判を受けるのは下手といつて特徴がある。私もそうなのですよ。私もそうなのですよ。そりや『総理!総理!』と言つてゐるほうが簡単やで」

「私は、自社の政権を

経験して実感したのは『まめさ』こそが権力維持の最大の装置やということ」。ある自民党的幹部は『芝居』ではステージの幕が上がったときには準備が終わっているとの同様、政策も公になつたときはほとんど終わっていないと周りが混乱する」と教えてくれた。ど

うかねの、「理念重視のあまり気が回らず。権力維持には『まめさ』が必要だが、理念重視のあまり気が回らない」などはありますね」苦笑する辻元さん、「いや、気が回らないんですけど、そこまで突っ込むと、どう解説した。『いや、気が回らない』などとは、いかがっていればいいんだ、みたいになりますね」

「確かに、市民運動出身の政治家には、批判するの上手でも、批判を受けるのは下手といつて特徴がある。私もそうなのですよ。私もそうなのですよ。そりや『総理!総理!』と言つてゐるほうが簡単やで」

「私は、自社の政権を

経験して実感したのは『まめさ』こそが権力維持の最大の装置やということ」。ある自民党的幹部は『芝居』ではステージの幕が上がったときには準備が終わっているとの同様、政策も公になつたときはほとんど終わっていないと周りが混乱する」と教えてくれた。ど

うかねの、「理念重視のあまり気が回らず。権力維持には『まめさ』が必要だが、理念重視のあまり気が回らない」などはありますね」苦笑する辻元さん、「いや、気が回らないんですけど、そこまで突っ込むと、どう解説した。『いや、気が回らない』などとは、いかがっていればいいんだ、みたいになりますね」

「確かに、市民運動出身の政治家には、批判するの上手でも、批判を受けるのは下手といつて特徴がある。私もそうなのですよ。私もそうなのですよ。そりや『総理!総理!』と言つてゐるほうが簡単やで」

「私は、自社の政権を

経験して実感したのは『まめさ』こそが権力維持の最大の装置やということ」。ある自民党的幹部は『芝居』ではステージの幕が上がったときには準備が終わっているとの同様、政策も公になつたときはほとんど終わっていないと周りが混乱する」と教えてくれた。ど

うかねの、「理念重視のあまり気が回らず。権力維持には『まめさ』が必要だが、理念重視のあまり気が回らない」などはありますね」苦笑する辻元さん、「いや、気が回らないんですけど、そこまで突っ込むと、どう解説した。『いや、気が回らない』などとは、いかがっていればいいんだ、みたいになりますね」

「確かに、市民運動出身の政治家には、批判するの上手でも、批判を受けるのは下手といつて特徴がある。私もそうなのですよ。私もそうなのですよ。そりや『総理!総理!』と言つてゐるほうが簡単やで」

「私は、自社の政権を

「統治には2種類あると思うんですよ。一つは中曾根康弘元首相のように自らが引っ張る『強いおやじ型』。もう一つが、市民一人一人に社会に参加してもう一度市民参加型です。どちらが地域にて、さらにそのうでの行動が一致しなかつたのは、そこにも原因があなれば安定しない。現実には自民党長期政権のもつた政権の政策を実行すればいい。でも、総理大臣になつたら『統治』をする。統治とは考え方が違う人、反対するイデオロギーを持つ人をも守ること。そしてやりたい仕事だけではなく、やりたくないことでも妥協しつつ利害関係を調整することなんですね」

しかし、野党、官僚、財界、そして党内の対立勢力……菅首相にとつては、いずれも闇うべき相手だった。

「私たち市民運動から出てきた人間はね」。かみしめ

るようにならぬこと

だ。

菅首相の政治決断、是非別にして歴史に残るものが別にして歴史に残るものがあるとすれば、5月6日の「浜岡原発停止要請」、そして7月13日の「脱原発表明」が含まれることは間違いない。

菅首相の政治決断、是非別にして歴史に残るものが別にして歴史に残るものがあるとすれば、5月6日の「浜岡原発停止要請」、そして7月13日の「脱原発表明」が含まれることは間違いない。

菅首相の政治決断、是非別にして歴史に残るものが別にして歴史に残るものがあるとすれば、5月6日の「浜岡原発停止要請」、そして7月13日の「脱原発表明」が含まれることは間違いない。

菅首相の政治決断、是非別にして歴史に残るものが別にして歴史に残るものがあるとすれば、5月6日の「浜岡原発停止要請」、そして7月13日の「脱原発表明」が含まれることは間違いない。